

好きな色を見つけよう～自然の中の色探し～

■プログラムの概要

ねらい	<ul style="list-style-type: none">・色探しを通じて、自然界に存在する色としない色との違いを考える・友達の好きな色と一緒に探すことで、互いに嗜好を知ったり、その色のよさを共感したりする・好きな色を起点に校庭への愛着を深めたり、季節の移り変わりによる変化など自然を観察する視点を身につけたりする		
キーワード	身近な自然		
対象	幼児～小学4年		
時間	45分	実施場所	校庭など
使用するもの	<ul style="list-style-type: none">・色探しカード・色カード（100色程度あると良い）・振り返りシート・筆記用具、のり・バンダナ		
全体の流れ	<ol style="list-style-type: none">1. 導入2. 色選び グループごとに集まり、各自が好きな色の色カードを4枚ほど選び、自分の色探しカードに貼りつける。3. 色探し 色探しカードを持ち、グループごとに校庭での色探しをする。4. 発表 自分の好きな色が校庭のどんなところにあったのか、カードに書き入れ、全児童がクラスの友達に紹介する。5. まとめ 本時の活動を通じて、自然の中の色や友達の好きな色などについて感想を、代表の児童が発表する。		

■進め方

時間	学習内容	指導上の留意点
5分	<導入> 自己紹介・授業の流れの説明など	
5分	<色選び> グループに分かれ、色探しカードを作る。 カードに各自が好きな色を4色ずつ貼る。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループは3~4人とする。 ・時間に余裕がある場合には、完成したカードを見て、それぞれの色が校庭のどの辺りにありそうか話し合う。
20分	<色探し> グループで校庭に出て、色探しカードに貼った色を探す。 <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた場所などをメモする。 ・見つけたなかで持ってこられそうなものはハンダナに入れて持ってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループがまとまって動き、色の確認を一緒にするように指示する。 ・遊具などの色ではなく、自然の中にあるものから探すように伝える。 ・見つからない色がある場合には、先に見つかりそうな色を探すように伝える。 ・グループの中に好きな色を一つも見つけれられていない児童がいないように留意する。 ・見つけた物を持ってこる際、生えている植物などは持ってこないように指導する。
10分	<発表> 全児童がクラスの前で自分の好きな色が校庭のどの場所にあったかを紹介する。 (グループごとに各1色ずつ。)	<ul style="list-style-type: none"> ・見つからなかった色に関しては、校庭の環境や季節などの影響があることに注意する。グループの代表発表もある。
5分	<まとめ> 代表者が全体(学年全体またはクラス)の前で感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した色探しカードは教室などに掲示してもらい、他の班とも共有する。

■使用するもの

物品名	数量	備考
色探しカード	人数分	
色カード	人数分	色数の多い折り紙などを切って利用する。(100種類程の折り紙は市販されている) 授業時に選択するため、余分に用意する。
振り返りカード	人数分	授業終了後に記入する。
筆記用具・のり	各自	色探しカード作成・色探しの際に使用する。
ハンダナ	グループごと	色探しの時に見つけたものを入れる。

■実施にあたって留意する点

- ・色探しカードは、校庭にない色があることを想定して各4色選ぶこととした。グループ内で出来る限り色が分散するように、同系色も複数の種類がある色カードを用意することが望ましい。